

流動創生

【メディア掲載情報】

世界中の社会課題を解決するアイデアを紹介しているウェブマガジン「greenz」に本町の流動創生事業が掲載されました。

本記事は greenz の他記事と比べても大変多く読まれ、公開一週間(2/13~19)のアクセス数は 4000pv 以上を集め、ランキング第1位となり、町の取り組みが大変多くの方に知られ、共感を頂いたことがわかります。

投稿されている感想から、ごく一部となりますが抜粋してご紹介します。



SNSでの「いいね!」: 300 件以上 シェア数: 100 件以上

「地方創生ってどこも同じようなことやってる感があったけど、これは違うね!」

「すごくいい取り組み。人を取り合うことだけを考えてると、自分たちが疲れて地方は廃れるんじゃないかと思う。

積極的に交流人口を増やして、第2市民のような居住とは違う形で地域にかかわる人を増やせるといいと思う」

「本当に共感したし、地方と地方がつながりたがっている“若者”の気持ちをよく理解したうえで、大きな可能性も感じました。ほんとに応援しています」

記事本文については右記 URL よりご覧ください。 <http://greenz.jp/2017/02/14/ryudosousei/>

～ 2/11(土)～12(日) 町内滞在企画ストップオーバー 16 旅する暮らし方 開催報告 ～



本企画は町外に住む方が南越前町に滞在し、移動式住居を使った模擬店などを開いて町内の賑わいづくりのお手伝いをしてもらおうとするものです。イベント中は町外在住者7名が来町し、たき火料理やカフェ、タイ式もみほぐしなどを提供。町民も町外在住者も、大人も子供も楽しい時間を過ごされました。

今回、タイ式もみほぐしを提供した京都市在住の中居茜さんは、「京都から近い所にこのような縁ができた。今後は定期的に来てもみほぐしを提供したり、ご家族にもしてあげられるようなケア方法を伝えていけたら。」と話し、今後も南越前町に定期的に訪れるきっかけともなったようです。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生

検索

<https://www.facebook.com/ryudousousei>

流動創生

【満員御礼！東京都内にてイベントを開催】

3月11日、東京都にて都市部開催イベント「流動創生 クロスオーバー」を行いました。

本イベントは、地域おこし協力隊の活動の一環である流動創生事業のPRを目的としたもので、事業の説明や活動報告のほか、事業の目的である「人の流れ」を活発化するための意見交換会などを行いました。

東京都在住者を中心に約30名が参加し、満員の会場の中、意見交換会では大いに盛り上がりしました。

参加者の声

「興味深い話が多く楽しかったです。」
「地域が移住者を取り合うような地方創生のあり方に疑問を持っていたので、流動創生の考えにとっても共感しました。」



【大阪から13名の若者が町内滞在】

流動創生事業の記事をホームページ等で知り、興味をもった大阪在住の若者13名が3月25日、26日の両日、町内滞在を目的に来町しました。

25日は町内を見学し、26日は今庄宿で開催された宿の市のそば店を手伝われました。



滞在者の森悠汰さん

「楽しかったし、来てみていいところだと分かりました。アクセスも意外と良かったので、また来たいです。」



そば店出店の細川治さん

「接客や皿洗いなどを手伝ってくれて本当に助かりました。こちら元気もらいました。」

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索

<https://www.facebook.com/ryudousousei>

● 5月1日付で、地域おこし協力隊を採用しました



門田 和也 (27 歳)

所属：観光まちづくり課

【プロフィール】

埼玉県出身。大学在学中よりお風呂関連の仕事がしたいと考え、全国でスーパー銭湯を経営する会社に勤め、接客やイベント企画、調理業務などの施設運営業務に従事してきました。

【活動内容】

移住検討者向けのパンフレット製作や移住検討者の対応など移住促進事業および、都市と地方の連携で人の流れを作る流動創生事業に取り組みます。

【活動の抱負】

田舎暮らしを熱望していたところ、東京でのイベントで南越前町の地域おこし協力隊募集を知り、ぜひ南越前町へ行きたいと考え、今回地域おこし協力隊として着任させて頂くこととなりました。

移住促進においては自身も移住者ですので、移住者なりの視点を活かして取り組んでいきたいと思います。また流動創生事業においても、人と地域のマッチングをより大事にされている事業はなかなか他の地域にはないと考えており、都市と地域の新しい人の流れに貢献できるよう精一杯取り組んでいきます。

いろいろとお伺いすることやご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

流動創生

多拠点滞在者紹介①

流動創生事業が始まってから多くの町外在住者が町内を訪れましたが、事業開始3年目を迎え、定期的に来町される方が増えてきています。

今回ご紹介する米山貴雄さんは大阪府在住。2年前に初めて町内滞在企画「StopOver」で南越前町を訪れて以来、複数回来町。現在では月2回程度、週末に大阪から町に来て、畑作業のお手伝いをしています。

米山さんは「月2回週末に来るというペースですが、回数を重ねると町で生活しているような気持ちも芽生えてきます。協力隊として活動する友達がいるからという軽い気持ちで訪れるようになりましたが、滞在日数を重ねることによって観光とはまた違う思い入れになりますね。」と話されました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudouousei>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013





地域おこし協力隊

山岸隊員インタビュー



6月で協力隊2年目を終える地域おこし協力隊の山岸隊員に、日頃の活動や、南越前町での暮らしについてお話を伺いました。

Q、日頃の活動について教えてくださいか？

まずは流動創生事業支援です。平成27年の開始以来200名超の方が町内に滞在しており、その後も何度も町に訪れては畑作業など人手に困っている地域の仕事をお手伝いしてくれている方も多くいます。また、自治体が行う事業としては画期的な面もあるので、全国販売の雑誌やテレビ等の取材依頼や東京でのイベントに呼ばれるなど注目度も高くなっています。そのなかで滞在希望者の対応や、地域仕事の調整、イベントの企画開催、拠点の整備、情報発信、戦略検討等してきました。

それ以外では例えば、いま全国的に地域おこし協力隊の採用が難しくなっていますが、地域おこし協力隊をいかに採用するか、いかに活動してもらうかなどを役場職員の方と一緒に考えたりもします。これで移住してきたのが中谷隊員や門田隊員ですね。彼らもまた新しいよそ者を連れてきて地域とつなげ、そのよそ者がさらによそ者を連れて…といった形になってます。

あとは、たまに広告物の写真を撮影に行くこともあります。

Q、活動するなかで難しいなと思うことは何かありますか？

先述の業務についていえば平成27年に開始してから順調に来ているように思います。何か事業を新しく始めて2年、3年で風景がパッと変わるなんてことはそうないので。

そのなかで課題を強いてあげるとすると、たとえば協力隊は最長3年の任期しかないので任期中に任期後の仕事や進路を踏まえた活動をする必要があるということ。そういったなかで、なかなかすべてのご依頼にお応えするのが難しいことです。

あとは、全国の地域おこし協力隊界限で言われていることですが、「地域おこし協力隊が何をしているかわからないと言われる。」とか、例えば地域活性化に対する考え方や立場による認識の相違とかですね。

ただどんなこと、どんな環境でも課題とか難しさ、“ハードル”があるのは当たり前で、うまくいかないと、わからない理由を環境や他人のせいにするのではなく、その状況に対して自分がどう工夫して解決するかですよ。『地域おこし』も同じかもしれませんが（笑）。

Q、これからさらにチャレンジしていきたいことはありますか？

これまでの活動にプラスして、さらに都市部在住者を巻き込んだプロジェクトを行っていく予定です。今後さらに日本の人口が減少していきますし、都市部に人が集中しているという状況が変わらないならば、やはり外の人を地域に絡める形が必要ではないかと思っています。

Q、では、南越前町での生活についてはいかがですか？

もともと地域おこし協力隊になる以前から商店街活性化とか起業支援だとか地域活性化に関わる仕事をしていて、そのなかで1年だけ流動創生事業のお手伝いをするということで南越前町に来ましたが、それが、気がつけばこれから3年目を迎えるようとしています。

それはやはり生活の場や仕事の場で直接関わってくださっている方々に良くしていただいているからというところが大きいです。もちろん自然が多く、かつ生活に便利であるということも良いなと思う部分ではあるのですが、やはり「人」ですね。社会奉仕や運動会などの地域行事にも楽しく参加させていただいています。

限られた質問になりましたが、山岸隊員ありがとうございました！

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎47-8013



南越前町保健推進員です。私たちは、南越前町にお住まいの皆さんが健康に生活できるよう、お手伝いをしています。

そこで、今月号より「がん」に焦点を絞り、定期的に情報発信をしていきます。

※がん予防を目的に、平成 29 年度からスタートしている南越前町独自の取り組みです。
(詳しくは、広報紙 5 月号 2 頁から 5 頁をご覧ください。)

日本人で 2 番目に多いがん「大腸がん」

欧米で多いと言われてきた大腸がんですが、日本においても現在、罹患数第 2 位であり、男女とも増加傾向にあります。

□ 大腸がんはどんな病気？

大腸は小腸と肛門の間にある臓器で、小腸側の結腸と肛門側の直腸に分かれます。がんの発生部位によって結腸がん、直腸がん、肛門がんと呼ばれ、大腸がん全体の約 70% が直腸周辺に発症します。



□ 南越前町でも大腸がんは多いの？

町の部位別がん死亡の順位では、大腸がんは男性で第 3 位、女性で第 2 位であり、南越前町でも、多くの方が大腸がんによって亡くなっています。

□ 大腸ポリープは大腸がんになるの？

ポリープとはイボのような突起物で、大腸の内側の粘膜にできたものを大腸ポリープと言います。良性なら問題はないですが、悪性ポリープの場合、大きくなると大腸がんになる可能性があるため切除してもらうようにしましょう。

□ 大腸がんの検診はどんな検査？

町の大腸がん検診は便潜血検査を実施しています。便の表面をスティックでこすり取り、便から血液が検出されるかを調べる検査です。安全で痛みもない検査ですので、是非、受診してください。



★検査容器は、保健福祉課または各総合事務所にしてお受け取りください。提出は集団検診会場にお持ちいただくか、保健福祉課、各総合事務所でも回収しております(受診券、自己負担金が必要です)。

大腸がんは早期発見すれば完治できる確率が高いものの、自覚症状が出にくいがんです。年に 1 度は大腸がん検査を受けましょう。

■ 問合せ 保健福祉課 ☎ 47-8007

流動創生

【満員御礼！東京都内にてイベントを開催】

東京・日本橋でイベントスペースを運営する「BETTARA STAND 日本橋」さんにゲストとしての参加をお声かけいただき、6 月 7 日に『「流動創生」こうして僕らは旅を生きる。1 億総「移動」社会への提案』と題したイベントを開催していただきました。

東京都在住者を中心に、移住だけではなく新しい地域との関わり方に関心をもつ方々など約 40 名が参加され、満員の会場は大いに盛り上がりしました。

参加者の方々からは「応援します。同じような動きが全国に広がればと思います」、「これからの発展も楽しみです」などといった声がありました。



■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 流動創生 検索



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内)

☎ 47-8009

社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター 2 階)

☎ 45-1170

//

河野支所(河野保健福祉センター 1 階)

☎ 48-2260

アンケート結果、お手元に届きましたか？ 内容を確認し、介護予防に努めましょう！

8 月中旬に「南越前町日常生活圏域ニーズ調査およびもの忘れ検診」のアンケート結果を送付させていただきました。内容をご確認いただき、もの忘れ検診の結果について「**かかりつけ医相談票**」が同封されていたら、**受診時に持参し、かかりつけ医にご相談ください。必要に応じて簡易な検査を実施する場合があります。**

もの忘れは早目に気づいて取り組むことで、認知症の発症予防や進行予防に効果があると言われています。特に運動は脳の神経を成長させ、記憶力の改善に効果があります。日常生活の中で運動を取り入れる習慣を作り、介護予防、認知症予防に努めましょう。各地区で行われている「介護予防のつどい」や「健康体操」などの参加もお勧めです。

かかりつけ医相談票(抜粋)

〒<郵便番号>	かかりつけ医相談票 (南越前町)
<住所>	
<氏名> 様	
No.	平成 29 年 8 月 10 日
もの忘れ検診の結果について	
このたびは、南越前町日常生活圏域ニーズ調査およびもの忘れ検診アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。認知機能(もの忘れ)に関する回答から判定した結果をお知らせいたします。あなたは今回の調査結果より、	
もの忘れに対して注意が必要です	

各地区の体操教室など

教室名	会場	開催日	講師
介護予防のつどい	南条保健福祉センター	月曜～金曜 13:30～15:30	看護師等
	今庄サイクリングターミナル	水曜 13:30～15:30	
	河野地区公民館	月曜 13:30～15:30	
南条健康体操教室	南条地区公民館	月 2 回(金曜午後)	健康運動指導士等
タッピー体操クラブ	今庄保健センター	月 1 回(金曜午後)	
しおさい体操教室	糠公民館	月 1 回(木曜午前)	

※会場・日時は、事情により変更になる場合があります。町民カレンダー等でご確認ください。

流動創生

多拠点滞在者紹介②

流動創生事業が始まってから現在までに 200 名超の町外在住者が町内に滞在し、定期的に来町される方も増えています。

今回ご紹介する金沢いつみさんは滋賀県在住。普段は京都や滋賀で個人事業のお仕事をされていますが、もともと農業に興味があり、今年 4 月に初めて町を訪れて以来、8 月現在で 6 回滞在し、畑作業のお手伝いなどを行っています。

金沢さんは「南越前町に定期的に来ることで田舎の良さと都会の良さのバランスを取ることができています。ただ田舎で遊ぶのではなく、地域で活動することで少しでもお役に立てている感じが嬉しいです。」と話されました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryoudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013





地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター (保健福祉課内)

☎ 47-8009

社会福祉協議会地域包括支援センター (今庄福祉センター 2 階)

☎ 45-1170

//

河野支所 (河野保健福祉センター 1 階)

☎ 48-2260

仕事と介護を両立するためのポイント パート3 ～事前に知っておくべき介護のこと～

高齢化が進み、介護を必要とする方が増加しています。これに伴って、ご家族が介護をすることも増えていきます。介護がいつ始まっても慌てないために主な介護保険サービスについてご紹介します。ご利用には介護保険申請などが必要ですので、希望される場合はご相談ください。

自宅で利用する

- 看護師による症状観察や処置 (訪問看護)
- ヘルパーによる身体介護や家事援助 (訪問介護)
- 自宅での入浴介護 (訪問入浴介護)
- 自宅でのリハビリ (訪問リハビリ)
- 医師・歯科医師・薬剤師等による訪問 (居宅療養型管理指導)



通う・泊まる

- 通って受ける介護 (デイサービス)
- 通って受けるリハビリ (通所リハビリ)
- 泊まって、介護やリハビリを受けるサービス (ショートステイ)
- 同じ所で通いと泊まり、自宅訪問を組み合わせるサービス (小規模多機能型居宅介護)



環境を整える

- ベッドや歩行器等の貸与 (福祉用具貸与)
- シャワーチェアやポータブルトイレの購入 (特定福祉用具購入)
- 住宅の手すり設置や段差解消など (住宅改修費支給)



共同生活をする

認知症の方の共同生活 (グループホーム)

施設入所をする

- 生活介護が中心の施設 (介護老人福祉施設)
- リハビリが中心の施設 (介護老人保健施設)
- 医療が中心の施設 (介護療養型医療施設)

流動創生

【過去最多 50 名超が参加！】

南越前町×岡山県瀬戸内市連携イベント開催

8 月 18 日、東京都内にて岡山県瀬戸内市や民間企業と連携し「多拠点居住推進会議」を開催しました。

本イベントは、流動創生事業が推進する「多拠点居住」の普及を目的としています。南越前町のほか多拠点居住推進を考える岡山県瀬戸内市、また福岡銀行が設立した「ダイアゴナルラントーキョー」など多様な働き方を推進している企業などが集まり、南越前町での活動報告や都市と地方両方で暮らすことなどについて意見交換を行いました。

参加者は東京都内の方のほか、北は北海道、南は九州の多拠点居住に関心をもつ自治体職員の方、さらに南越前町民など 50 名を超える方が参加され、大盛況となりました。

参加者の方からは「地域活性化には人的交流は不可欠だから流動創生は非常に良いと思う」、「これぞ生きたお金の使い方だと思う」などといった声があがりました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生

検索

<https://www.facebook.com/ryoudousousei>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



▲ 町内のへしこや梅肉、味噌などの食材を使った軽食や今庄の地酒などを提供し、参加者の方々からも大好評で、食材や地酒の話も大いに盛り上がりしました。

地域おこし協力隊 — 旧玉村邸活用プロジェクト —



南越前町地域おこし協力隊では、旧玉村邸活用プロジェクトとして、今庄宿内にある町所有の空き家を活用し、町内と町外の方が交流できるコミュニティスペースとゲストハウス(宿屋)の開業を目指し、今年4月から活動しています。活動開始から半年が経ちましたので、現在の取り組みを紹介します。

コミュニティスペース、ゲストハウスの開業準備

平成29年度は運営計画策定・改修設計、平成30年度に改修工事を予定しています。

「(改修前の)今の状態で出来ることを、まずやってみよう!」を合言葉に、イベントを実施しています。現在は月に1回程度、京都からタイ式リラクゼーションセラピストの方にお越しいただき、「ほぐし屋さん」として地域住民の方の体をほぐしていただいています。また、京都から文字アーティストの方にお越しいただき、作品を飾っていただくことで、アートに触れていただく空間ができています。今後も月に1回程度開催していく予定ですので、ぜひお越しください。

また、開業後に滞在者にお楽しみいただくプログラムを提供するため、様々な地域産業体験プログラムを試験的に企画・運営をしています。8月は花ハス収穫体験(堂宮)や漁業見学(甲楽城)を町外の方に体験していただきました。今後は梅の選定作業(今泉)や野草茶づくり(瀬戸)、つるし柿加工体験(二ツ屋)、日本酒仕込み体験(今庄)等を予定しています。

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

流動創生

【StopOver19にて都市部在住者が 宅良地区体育大会に参加しました】

9月30日から10月1日まで、流動創生事業の町内滞在企画StopOver19を開催しました。

今回は関東在住の「多拠点居住」に関心を持つ方などが来町し、宅良地区に滞在しながら体育大会の開催準備や競技に参加するなどしました。東京から参加した武田明子さんは「楽しかったです!宅良地区の皆様、本当にありがとうございました!またお邪魔させてください。」と話されました。また、宅良公民館主事の西川修司さんも「体育大会に参加してもらって助かったのはもちろん、宅良地区民の皆さんが例年以上に楽しんでいた事が嬉しいです。よく宅良も過疎化って言われますけど、そういう時ってまず住民の心が過疎化していくような気がします。でもそんな心を潤してくれるのが流動創生だと強く感じました。」と話されました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudousousei>

■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



流動創生

古来より多くの人と文化の交流の要所となってきた南越前町がおくる、人口減少時代の新しい人と文化の交流をつくりだす流動創生事業企画「ラウンドトリップ」。その第4回目を10月7日から10月10日の4日間にわたり実施しました。

本企画は都市部在住者をワゴンに乗せて、南越前町のほか受け入れ地域を巡り各地で活動し、各地域との縁をつくるとともに、参加者それぞれが地域で活動するにあたって適した場所を見つけてもらうことを目的としています。

今回は東京在住者や福井在住者など約10名の方が参加し、岡山県瀬戸内市、長野県飯田市と連携し開催。滞在地域の予習をするなどの事前研修と、訪問後に地域で何をするか企画する事後研修も実施したところ、人と文化の交流をつくりだす企画がいくつも立ち上がりました。

ごく一部となりますがご紹介します。



9/27 東京都 10/4 福井市：事前研修

企画参加者の方々と地域訪問前の事前研修。各滞在地域の予習とともに、自身の地域滞在へ向けての動機の振り返りなどを行いました。



10/7 10/8 岡山県瀬戸内市

瀬戸内市地域おこし協力隊が空き家をDIYで宿泊施設に改装しており、そのお手伝いとして天井剥がしや庭の整備作業を行いました。また南越前町から、町民の方も駆けつけてくださいました。



10/8 10/9 南越前町

宅良地区にある旧宅良保育所にて11月18日に開催されるイベント「たくら CANVAS マーケット」の開催準備作業を行いました。地域の方に刈払機の使い方など教えて頂きながら楽しく作業しました。



10/9 10/10 長野県飯田市

“天空の里”とも呼ばれる下栗の里で住民の方々とそばの収穫を行いました。また、廃校を有志の住民さん方で管理し、町民と町外在住者のつながる場所となっている交流拠点を見学させて頂きました。



10/18 東京都 10/25 福井市：事後研修

各地訪問後に再び集まり、滞在地域での活動の振り返りや、地域で行いたいことなどを話し、今後の行動計画を立てました。「滞在地域にもう一度行きたい。」「地域の活動に関わりたい。」などといった声もたくさん聞かれました。



参加された方の声

ラウンドトリップについて(抜粋)

- ・ほんとにこの企画に参加して良かった。最高の機会・時間をくださった皆さんに感謝です。
- ・一生忘れられない機会になった。観光旅行では決して得られない充足感。企画としての魅力がすごいです。
- ・参加したことで以前より田舎暮らしを本気で考えることができたり、実際に足を運ぶことで見えてくる経験を身体に蓄積できました。

南越前町での活動について(抜粋)

- ・噂の熱い町、南越前町に行くことができました。初めて訪れた土地ですが、貴重な時間を過ごすことができて幸せでした。
- ・「たくら CANVAS マーケット」の主催者の方とお話ができて嬉しかったです。何かお手伝いできることがあればしていきたいです。

受入側の声

- ・瀬戸内市への来訪は今回が二度目。流動創生によって引き合わせていただいた貴重なご縁で、人と地域をつなぐことができた実感しております。今後参加者が、訪れた地域や人とさらにつながるのはもちろんですが、地域間でもより連携していきたいです。

さらに活動の様子について詳しく知りたい方は、流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryoudousousei>

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

流動創生

近年全国的な関心の高まりを見せる「多拠点居住」や「関係人口」（地域に居住はしないものの、地域と関わりを持つ人）ですが、南越前町では「流動創生」として全国に先駆けて 2015 年より取り組みを開始。昨年も多くの町外在住の方が南越前町を訪れ、町内活動のお手伝いをするなどし、その人数は流動創生事業がはじまった 2015 年から 3 年間で 300 名を超え、二度三度と来町される方も多くいらっしゃいます。

町外在住者が参加した昨年の主な町内活動：畑作業、そば店お手伝い、運動会などの地域行事お手伝い、つるし柿作り、酒造り、町内イベント開催準備お手伝い、デザイン制作など



また、昨年は都市部イベントを 3 回開催（計 120 名以上が参加）、雑誌や新聞などメディア掲載は計 8 件でした。本年も引き続き地域と人をつないでいきます。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

自然雪に恵まれ、スキー場オープン！

12 月 16 日、今庄 365 スキー場で今シーズン中の無事故を祈願する安全祈願祭が行われました。テープカット後にリフト運行が開始され、待ちわびた来場者はリフトに乗り込みゲレンデいっぱいになり、降り積もった雪の感触をスキーやスノーボードで味わっていました。

昨シーズンから全日スノーボードが滑走可能となり、入場者が過去 10 年間で最高の 8 万人を超えました。今シーズンは、台風 21 号の被害を受け、第 4 ペアリフトの運行ができず、チャレンジコースとサイドコースの 2 コースは滑走ができません。

特典満載のサービスデーやイベントを開催しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

詳しくは、今庄 365 スキー場までお問合せください。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8002 今庄 365 スキー場 TEL 45-1115



みなみえちぜん

観光
まちづくり
情報

第18回





ウォーターランド通信

■問合せ ウォーターランド南条 ☎ 47-3711

ウォーターランド南条

検索

★幼児水泳・ジュニアスイミング生徒大募集中！

幼児クラスでは、水慣れや水遊びの中で、体力と水泳の基礎が身に付くようにレッスンします。年長さんは、小学生の友達と一緒にレッスンします。ひとりひとりの泳力に合わせてクラス分けをしています。4泳法の習得はもちろん、体力、心肺機能の向上にも役立ちます。また、全国統一の泳力認定を受けることができます。

◆ジュニア水泳教室

対象 年長～小学6年生

日時 月～金曜日

午後4時20分～午後5時20分
午後5時30分～午後6時30分
土曜日
午前10時10分～午前11時10分
午前11時20分～午後0時20分
午後3時00分～午後4時00分

【会員特典！】

会員のお子様と同伴する保護者の方お1人のみ無料で施設を利用できます！

（教室受講日以外でも同伴の場合は、無料でプール・ジムを利用できます！）

★教室体験会員募集中！

大人は、お1人様1回限り550円で、ジュニアは、1回限り無料で体験できます。新年度に向けての身体づくり、体力づくりにこの機会に教室体験してみませんか？

詳しくは、お問合せください。

年金のお知らせ

■問合せ 武生年金事務所 Tel 23-1124
町民税務課 ☎ 47-8015

国民年金保険料は口座振替がお得です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用できます。

口座振替は、現金納付よりも割引額が大きい6カ月前納・1年前納・2年前納や、月々50円割引となる早割制度があります。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または最寄りの年金事務所、役場窓口へお申し出ください。

流動創生

【東京開催イベントで登壇させて頂きました】

1月13日と17日、東京で開催されたイベントに流動創生代表として荒木幸子さん（地域おこし協力隊 OG）が登壇しました。

13日は、雑誌 TURNS とデジタルハリウッドが開催する「Tokyo ⇄ Local Creative 5LIFE & 5DAYS」に司会役として登壇。南越前町の流動創生事業についてお話した後、流動創生拠点（古木）にも滞在するなど多拠点で活動するデザイナーさんやライターさんとパネルディスカッションを行いました。

17日は、イベントスペース「BETTARA STAND 日本橋」にて開催されたイベントにゲストとして登壇。こちらでも流動創生事業のお話とともに、地域での活動に関心を持つ都市部在住者へ向けて地域で求められていることなどについてお話をしました。

いまや県内でも美浜町が「多拠点活動アドバイザー」を置くなど、全国的にも「多拠点活動」や「関係人口」が注目され始めているなか、全国に先んじて多拠点活動や関係人口の創出を推進してきた南越前町の流動創生事業への注目も高まっています。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013



第25回

はすまつり投句会 入選句

1月18日、役場別館にて第25回はすまつり投句会表彰式が開催されました。

はすまつり開催期間中(7月1日～8月6日)、花はす公園内に投句箱を設けて「花はす」または「南越前町の史跡・名勝」を兼題として俳句を募集した結果、県内外から414句もの投句をいただきました。小山柴門先生ら5人が選句し、入選句が決まりました。(敬称略)



花はす大賞
海の日や日本遺産の船主邸

松本 和枝(福井市)

北前船存分に描く夏帽子

山内てるこ(福井市)

二十年花蓮詠みし友もなく

箕輪すづ子(越前市)

鎌を研ぐ明日は二時起き蓮を刈る

中山 昭子(越前市)

日本遺産北前船の浦涼し

村田 浩(福井市)

柔らかな蓮湯を母の背に流す

古川 時江(越前市)

蓮池に貴婦人めいて鷺一羽

金森 信子(越前市)

登校児送りて蓮切女となりぬ

安川 信子(西大道)

問合せ 観光まちづくり課

☎ 47-80002

流動創生

【定住でも観光でもない「関係人口」という関わり方】

この冬は雪の多い冬となりましたが、都市部在住の方が宅良地区の流動創生拠点に滞在し、屋根の雪おろしなどの除雪活動を町内で行いました。

さて、近頃テレビや雑誌などで取り上げられている「関係人口」という言葉をご存知でしょうか。関係人口とは『移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者』(総務省)とされており、平成27年度の「流動創生事業」開始以来、定期的に地域を訪れ地域で活動されてきた方も、町に滞在して除雪を行った方も、「関係人口」となります。総務省は『人口減少や高齢化等が先行する地方において、地域力を維持・強化するためには(中略)「関係人口」に着目することが必要である』と言っており、「関係人口」が今後さらに全国的に注目されていくものと思われます。



活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生

検索

<https://www.facebook.com/ryoudousousei>

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013